

チーム1 まとめシート

210308

■自己紹介・豊かだった時間—1

- 仲川さん** 旭化成ホームズ／渉外担当。住団連やプレ協で、温熱やIoTの会議に参加。
・オランダの地方都市で、日本語で、日系ブラジル人とのコミュニケーションがうまれた。
・日本語という共通点だけでなく、雰囲気などの言葉ではない部分もあって、信頼が生まれるのでは。
- 高尾さん** RIA／建築設計。使われ方が分からない中で設計するジレンマ。赤提灯などディープな場所好き。
・リラクゼーションの達人との出会い。体の疲れているところを見つけた時のギアが入る感じ。
・お互いに言葉を発しなくても、豊かなコミュニケーションはありえるのでは。
- 荒井さん** 大林組／建築設計。6年前に大阪から東京へ。使いにくくてもやがて受け入れられる様な空間が良い。
・「レモンの木と出会った」。レモンの木と一緒に東京に引っ越した。実がなったりならなかったり。
・実はあまり美味しくないが、試行錯誤して美味しいジャムが出来た。そういうのが意外と幸せ。
- 小松さん** 鹿島建設／不動産開発・大規模複合開発。長崎出身。子供を通しての付き合い。サッカー。写真。
・子供のサッカーで、強豪チームに移籍する選手の送別会。一般家庭では出来ないことを実現
・豊かさには、自分が何かを得ることと、他人に何かを感じてもらうことと、2種類あるのでは。
- 小原さん** 共立メンテナンス／寮事業。10年ぐらい前から学生が良い子に。コミュニケーションもとらない。
・20年ぐらい前は、寮生を暴れさせないことが仕事で、規則を沢山つくってきた。
・近年は、あえて学生同士が密になる仕組みづくりを行ってきたが。コロナ後どうすれば良いか。。
- 望月さん** 大成建設／都市開発本部。公民連携プロジェクト部。テニス、ランニング、ゴルフ。駅伝企画。
・人と人との間に通じ合うものを感じた時。量もけっこう大切。
・リアルとバーチャルの違いは？人々をリアルに結びつけるとはどういうことか、突き詰めた。

■自己紹介・豊かだった時間—2

- 羽田さん** 戸田建設／施工関係の研究開発(建築環境博士)。中学から5年間ヒューストン。テニス。子育て中。
・幼稚園の時。他人と一番最初にコミュニケーションをとった時。
・パーツと世界が開けた。
- 辻本さん** 日建設計／都内複合開発の都市計画(鉄道駅まわり)。情動環境(エモーションスケープ)試行中。
・「香り／お茶／前景・背景」。茶道。香道。知覚、情動と環境、型など、クロスインターにつなぐ。
・後世に残していきたいというのが豊かさだとすれば、こうした身体的な体験は残していくべきでは。
- 千野さん** 日本設計／建築設計。これまでにオフィスビルや音楽ホールなどを設計。
・オフィス設計では、インフォーマル・コミュニケーションを誘発する豊かな空間づくりが主流だった。
・コロナでWEB会議になれてきたが、WEB飲み会は、最初は面白いと思ったけど、最近はやっていない。
- 土田さん** 森ビル／都市開発本部。虎ノ門ヒルズ周辺開発。権利者と会う機会多い。電子レンジ買い替え予定。
・「最強のコミュニケーションツール」。息子を仲介に、老人とのコミュニケーションが生まれる。
・子供は「帰る」という行為すら楽しみながら何か発見する。そういう感性に豊かさを感じる。
- 野原先生** 日本文学(学習院・大野晋研)からイギリスで翻訳学へ。科学とアートをぶつける。JAZZ。サッカー。
・「テオヤンセン」との出会い。その作品。ガシャガシャ感。倒れてくるような危なっかしさ。
・ZOOMが多くなり五感的に絶対的に危険がない中で。いい意味での危険さに、懐かしさを感じる。
- 芝田** 久米設計／建築設計。音大や図書館などの設計。サックス。JAZZ。
・「エーテルを感じる」。静寂に対して圧迫感や存在感を感じたとき。これがエーテルでは？と思った。
・客観的な自分と、出来事周囲の経験や思い出が相まって、豊かな時間は思い返されるのでは。

■前回の抜粋

- ・日本語という共通点だけでなく、雰囲気などの言葉ではない部分もあって、信頼が生まれるのでは。
- ・お互いに言葉を発しなくても、豊かなコミュニケーションはありえるのでは。
- ・実はあまり美味しくないが、試行錯誤して美味しいジャムが出来た。そういうのが意外と幸せ。
- ・豊かさには、自分が何かを得ることと、他人に何かを感じてもらうことと、2種類あるのでは。
- ・近年は、あえて学生同士が密になる仕組みづくりを行ってきたが。コロナ後どうすれば良いか。
- ・リアルとバーチャルの違いは？人々をリアルに結びつけるとはどういうことか、突き詰めたい。
- ・幼稚園の時。他人と一番最初にコミュニケーションをとった時。パーッと世界が開けた。
- ・後世に残していきたいというのが豊かさだとすれば、こうした身体的な体験は残していくべきでは。
- ・コロナでWEB会議になれてきたが、WEB飲み会は、最初は面白いと思ったけど、最近はやっていない。
- ・子供は「帰る」という行為すら楽しみながら何か発見する。そういう感性に豊かさを感じる。
- ・ZOOMが多くなり五感的に絶対的に危険がない中で。いい意味での危険さに、懐かしさを感じる。
- ・客観的な自分と、出来事周囲の経験や思い出が相まって、豊かな時間は思い返されるのでは。

鞆の受け渡しとコミュニケーション

言葉を介した出来事に豊かさを感じる場合と、
言葉を介さない出来事に豊かさを感じる場合

型を介したコミュニケーション

イチゼロタイプと、ざっくりタイプ

隣接応答ペア

日本人とアメリカ人でリンゴが違う

翻訳をつづけると神にちかづく？

懷疑の連鎖をどこで断ち切るか？

五感で情報をとると言葉以上に安心感が得られる

言語的な知覚だけでなく、身体的な知覚がともなわないと、完全に信じられない。